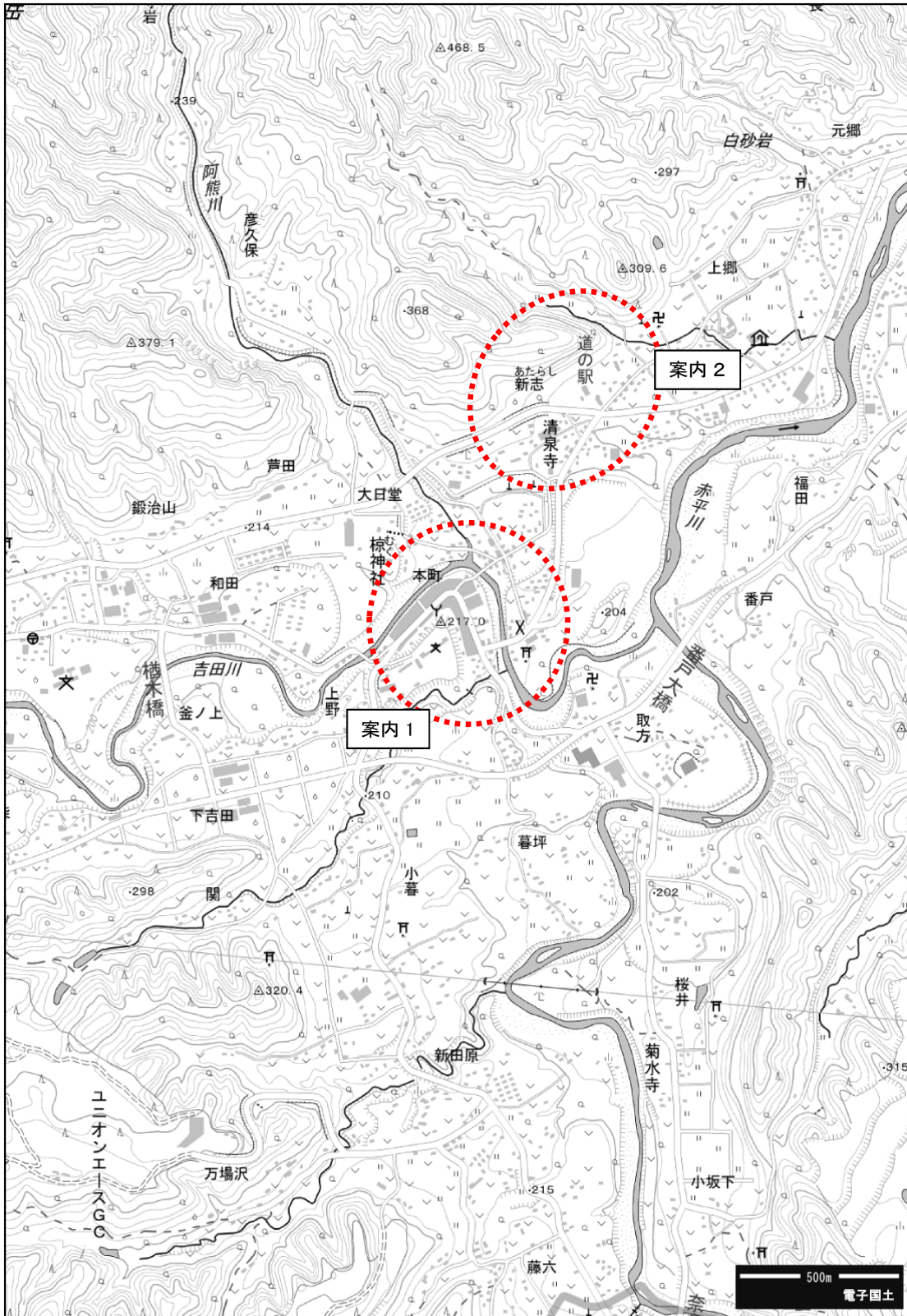


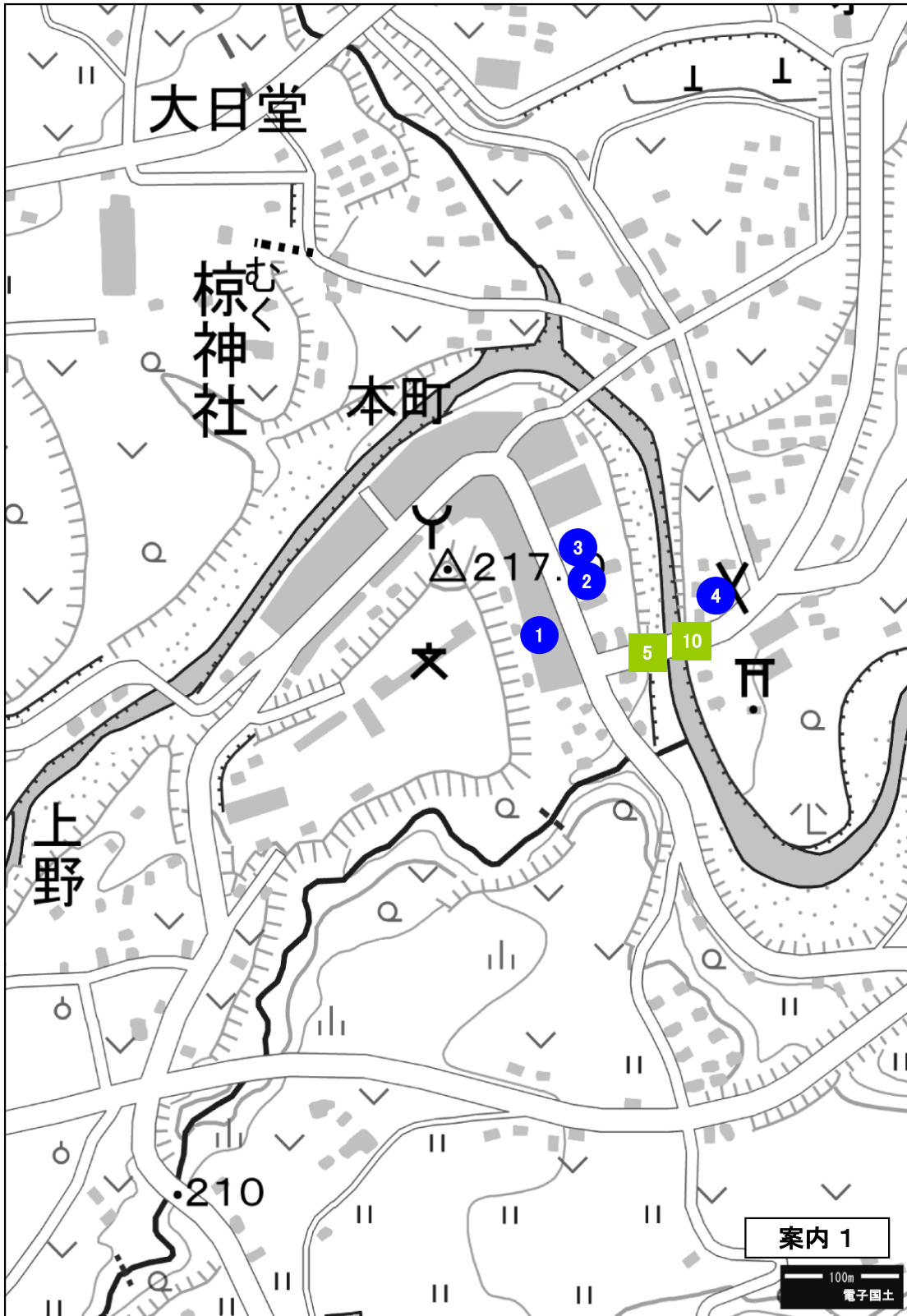
# 吉田



案内図

 調査範囲

吉田



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

吉田



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

## 吉田



吉田川の橋から見える川と山

秩父盆地の北西部にあたる旧吉田町は、自然に囲まれた人口6000人余りの町である。総面積の8割を山林が占めており、町の中心の下吉田は江戸時代に六斎市が開かれ発達した市場町。今はわずかながら小さな造り酒屋を中心にした面影が残されている。また、農民ロケットと呼ばれる『龍勢』目当てに多くの観光客が訪れる。

(写真は本町吉田川の橋上付近)

1

旧武毛銀行本店



武毛銀行本店社屋として大正7年に建造。正面及び壁面前面を白タイル貼りとし、後方に煉瓦を用い、瓦屋根を葺いた和風洋館。彩の国景観賞受賞。

2

酒蔵



創業380年の歴史を持つ酒蔵晴菊を引き継ぎ、平成15年度より醸造を開始した。敷地内には立派な一軒家もあり、カフェのような場所として生まれ変わっている。

3

酒蔵



連なった蔵の白壁がまぶしい。ファサードのデザインの異なる酒蔵が並んで、絶大な存在感がある。

4

元吉田歴史資料館跡



旧吉田町役場の建物を利用して昭和62年、吉田歴史資料館として開館。現在は老朽化のため閉館している。

5

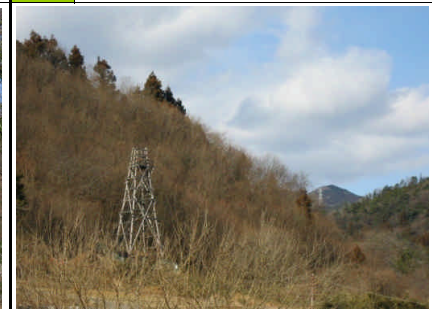
橋からの風景







秩父の山々を一望できる最高のロケーション。水は澄み、穏やかな流れに心が落ち着く。

6

龍勢



天正年間(1570年代)から始められたと伝わる龍勢は、通称“農民ロケット”と呼ばれる手作りロケット花火である。木々の間に建つ20mの打ち上げ檣から勢いよく飛び出す様に魅せられて多くの観光客が訪れる。埼玉県の無形文化財に登録されている。

7	龍勢会館	8	草の乱オープンセット	9	井上传蔵邸
					
<p>道の駅『龍勢会館』は、その祭りを知る場として設けられた施設。隣には龍勢茶屋なる直売店、軽食堂があり、地元の産物に出逢える。駐車場も広い。</p>		<p>龍勢会館、道の駅の入口に映画『草の乱』のオープンセットが残されている。周囲の建物、風景に違和感なく溶け込んでいた。</p>		<p>龍勢会館に併設して、秩父事件の主要人物であった井上传蔵邸の復元、という形で秩父資料館がある。映画のセットとしても使われた。</p>	
10	-1 橋上の風景	10	-2 清流と山々		
					
<p>昔ながらの自然や生活文化の豊かさを守り続けてきた地域に、今また新しい役割が期待されている気がした。</p>		<p>吉田川に架かる橋から遠方を見ると清流と山々が静かに時を刻んでいることを共感できる</p>			